

妨害と暴力行為について

時にグループは、アディクトの間で回復が分ちあわれる雰囲気を保とうとする中で、挑発や難問を経験することがあります。このパンフレットは、そのような挑発について書かれています。つまり、NA グループの中での妨害や暴力行為についてです。これは、メンバーが歓迎され、個人が脅されることなく安全にミーティングに参加できるよう、グループの責任をはたす手助けをするための案内です。以下に、グループの回復の雰囲気を危うくするような、いくつかの妨害行為をサンプルとしてあげています。続いて、グループが力を合わせ、これらの難問に向かっていくための実際的な解決案が示されています。

2年のクリーンが続いたあとで近ごろリラプスした一人のメンバーが、いくつかのミーティング場で妨害行為をし、日に日にエスカレートしています。近ごろ彼女はより暴力的になって、何人かには言葉で攻撃し、暴力で脅すようになってしまいました。

最近、多くのメンバーが、ミーティング場での騒がしい子ども問題に悩んで、私 のところに相談にきます。子どもをミーティング場に連れてこなければならぬ親たちには同情します。しかし、これはまさにグループを妨害することなのに、誰も 声をあげたがらないのです。

私たちのグループにいる一人のアディクトが、スピーカーや分ち合っている仲間を妨害し続けています。ミーティングが終わるまでの間に、彼はますます荒れ続けます。彼のスポンサーが彼に話をしようとし続けているのは知っていますが彼には興味がないようです。私たちのグループは、ミーティングを彼の人間性に取られているように感じています。私たちになにができるでしょう？

以下に示す対処法は、妨害や暴力行為に対処する上で、フェロウシップにとっての最適なトレーニングになるでしょう。妨害行為にもさまざまな程度があり、グループの多くの挑発の経験は、先に述べたほどには厳しいものではありません。ほとんどのケースの場合は小さな妨害行為で、経験のあるグループ・セクレタリーやリーダー、チェアパーソンによって効果的に処理されています。

このパンフレットは、実際にミーティング中におこる妨害に向けて書かれたものです。ミーティング場の外でおこる同じような嫌がらせや、メンバーの傷つきやすさに付け入るような行為もまた、ミーティングの回復の雰囲気に影響をおよぼします。しかし、これらのトピックスが直接このパンフレットに書かれているのではなく、グループをより良い方向にもっていくための有意義なディスカッションが許され、起こりうるどんな問題も解決していこうとする気持ちをグループに持たせるためのものです。

ときどき NA メンバーたちは、最初の分裂を起こすような妨害行為を企てようとします。この提案は、そんなメンバーたちとも一緒に、ミーティングの回復の雰囲気を保つために働きかけようとするものです。彼らは他のメンバーたちに権力を示すために、メンバーのライセンスを返上するつもりはないのです。

常識、開かれた心、落ち着いたディスカッション、正確な情報、お互いに尊敬し合うこと、個人の健康的な回復は、ほとんどどんな問題にも有効に対処できるように、グループを成長させてくれる。

『グループ・ブックレット』より

グループ・ディスカッション

グループが最初にできることは、グループ・ビジネス・ミーティングでその状況について話し合うことです。これらのディスカッションは、破壊行為に対処するための計画を発展させる助けになり、明らかな破壊行為について、グループの中で誰が対応の責任を持つのかを見極めさせてくれます。オープンでざっくばらんなディスカッションからは、さらに他の重要な解決策を導き出せるかもしれませんし、メンバーに安全とより一層の一体性を感じさせる手助けもしてくれるでしょう。

グループはしばしば、メンバーがミーティングの間中おしゃべりしていたり、子どもが一人でうろうろしているなど、小さな妨害行為にあいます。ディスカッションでは、必ずしもこれらの妨害行為をただす必要はないかもしれませんが、グループがその状況について解決を図ろうとする気持ちを高めてくれるでしょう。

ミーティング・リーダーの役割

チェアパーソンやリーダー、グループ・セクレタリーは、分ち合いの破壊的な中断や暴発から、ミーティングを引き戻す手助けができます。ミーティングが再び回復の雰囲気に焦点を当てられるよう、5分間の休憩をアナウンスしたり、祈りや短い時間の黙想をグループに呼びかけたりすることは、グループ・リーダー特有の役割です。メンバー一人一人の権利を尊重するあまり、私たちは時々グループを尊重することを忘れてしまいます。他のメンバーを尊重しながらも、どんな個人もグループが回復の雰囲気を作り出すのを妨げることは許されてはならないのです。

ミーティング・テーマ

もう一つの選択として、グループの回復の雰囲気に焦点を当ててディスカッションをする、リカバリー・ミーティングを開くよう考慮する方法もあります。このディスカッションは、スピリチュアルな原理が回復の雰囲気に応用されることを、グループに気付かせてくれるでしょう（前述の一体性やNAメッセージを運ぶということ）。このアプローチを試そうとするグループは、特定の個人の行為について話し合うのを必ず避けたがるでしょうが、代わりに NA の原理とグループの回復の雰囲気に焦点を当てると良いでしょう。

ASC でのディスカッション

より多い気付きに導いてくれることを求めて、グループはその問題をエリア・サービス・コミティに持ち込むよう考えてもいいでしょう。エリアの他のグループから、解決案のサンプルが得られるかもしれません。

メンバーにアプローチする

もし、その人物に直接アプローチすることをグループが決定したなら、それぞれの立場の状況の説明には、最も良い話し方が選ばれるべきでしょう。いくつかの状況では、メンバーの一人が妨害行為をする本人と、その状況について話し合うことが功を奏すかもしれません。これは愛をもって、十分に配慮しながらなされなければなりません——慈悲深さと理解をもって、程良い正直さで。私たちは、その問題を個人の責任にしてしまうような危険を冒さないよう、慎重にならなければなりません。

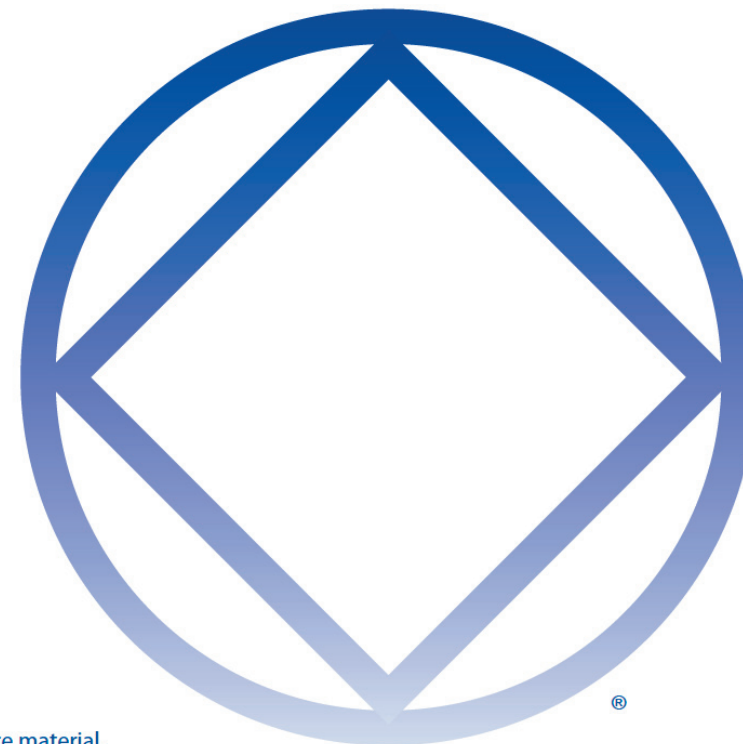
妨害と暴力行為について

DISRUPTIVE & VIOLENT BEHAVIOR

司法機関を呼ぶのは、個人的な安全が危うくなった時に限定されます。これらの提案は、グループが回復の雰囲気を立て直し、確かなものにさせる手助けをするということを意味します。他の NA メンバーの参加をコントロールする権限をグループに与えるものではありません。私たちが一体性と主要目的に焦点を当て続けることで、どんな可能性の問題や挑発にもより良い解決が与えられるでしょう。

私たちが集まる時はいつでも、愛なるハイヤー・パワーの存在と導きを探し 求める。ハイヤーパワーは方向を示し、私たちの全ての行動を通して導いてくれる。

『It Works: How and Why, Tradition Two』



This is Board-approved service material.

© 2007 by NA World Services, Inc. All rights reserved.
19737 Nordhoff Place ♦ Chatsworth, CA 91311
t 818.773.9999 ♦ f 818.700.0700 ♦ www.na.org

ISBN 978-1-55776-720-2

Item No. 2204

7/07

Trial Version

その他の場面では、成熟し、安定しているグループの二人か三人のメンバーそれぞれに、妨害行為をする個人とミーティングで会ってもらうようにした方がいい場合もあります。これらのメンバーは、妨害行為をする彼または彼女に、今何が起きているのかということや、そのような暴力行為は受け入れられないということを理解してもらうための手助けができます。またその他には、ミーティングを続けるために、何人かのメンバーが妨害行為をする個人を外に連れ出す場合もあります。これらのアプローチのゴールは、脅したり、誰かの権威を暗示したりすることではなく、むしろその個人をミーティングの分裂状態から守るところにあります。グループメンバーは妨害行為をするメンバーに、その行為をやめればミーティング場にいられること、しかし、行為が続くようであれば外に出よう求められるだろうと知らせることができます。ここでも再び、あわれみと理解とともに、程良い正直さが助けになるでしょう。重大な警告はメンバー全体の安全を保ち、その状況がエスカレートするのを避けるために実行されなければなりません。グループは、この仲裁が必要になるような事態が一回か二回は起きるということを予想することもできます。しかしながら、グループがその状況を愛情深く、しっかりとした態度で見続けるならば、妨害行為をする人物にとってもミーティングに参加する上でのニーズを尊重するための、より良いチャンスとなるでしょう。

一時的なミーティングの中止

いくつかのケースでは、暴力や妨害行為は、グループが一時的にミーティングを中止するのに十分な深刻さをもたらします。これは、一時的にミーティングを中止することや、次のレギュラー・ミーティングまでミーティングを延期するということを意味します。このアプローチの目的は、その問題の処置をとり、メンバーたちにとってミーティング場が安全で歓迎される場所であることを保証することにあります。

グループの福利を守ること

NA ミーティングでメンバーが暴力を振るったり、またその恐れがあって、いくつかのアプローチをしても効果がない場合は、最終的にグループは警察を呼ぶ決定をすることもできます。ミーティングに参加している全てのメンバーにとって、安全性はとても重大な要件です。私たちが各々のメンバーのアノニミティを尊重するのに対して、暴力行為をする人物は自らの行為をもって彼らの個人的なアノニミティを犠牲にするのです。